



第1日目(7/14) 出発にあたって

[速報ページへ](#)

北摂つばさ高校にて 集合・出発

昨年に引き続き、45名を超える参加者で行動するため事前の検温報告及び活動中の検温・消毒等徹底しながら実施します。事前研修も終え、生徒たちにとっていい経験になるよう引率者も心がけていきたいと思ひます。今年度は箕面ユネスコ協会のインターンも兼ねている本校の卒業生2名がサポーターとして参加してくれています。全日本模擬国連大会出場経験者でもあり、カンボジアやネパールに派遣された先輩たちとの交流もいい経験になるでしょう。



北摂つばさ高校にて

北摂つばさ高校にて

バスにて出発

生徒たちの出発に向けてのメッセージ

2年福岡

実際に始まるということが始めの集まりや同じ宿泊班の人に会うことでより明確に感じてワクワクする気持ちでいっぱいになった。集合場所に着くまでに友達ができたととりあえずの友達を作るという目標を達成できてよかった。

2年佐伯

「今までルールを守り、なんの事故もなく帰って来れたからこそ、12年もこのプロジェクトを続けられている」そんな会長の話を聞いて、長年続くプロジェクトに参加させていただくのだと実感し、身の引き締まる思いを感じた。私はこのボランティアをとおして、現地でしか学べないことを学ぶことを目標に活動したいと思う。言葉や生活の仕方が全く違う環境の中で、なにか感じとれるものを探し続けていきたいと思う。

1年西村

先生方がおっしゃっていた通り、事故とコロナに気をつけて行こうと思いました。いろんな学校の人があるので、その人たちとの交流や、現地の人々との交流を大事にして、五日間を過ごしたいと思ひます。

1年徳見

今回のボランティアでは、以前にも書いたように、あくまでもこちらが学ぶのだから積極的に学ぶ機会を探して行きたいと考えている。一瞬一瞬の感じた気持ちを大切に、今回の経験が無駄なものとならないよう記憶に残る活動にしたいと思う。